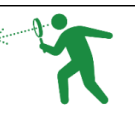
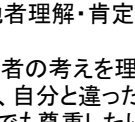
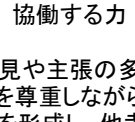
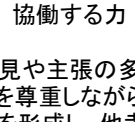


令和4年度 学校評価表(安来高等学校)

自己評価・・・達成指数100以上⇒評価A(目標達成)、達成指数80以上100未満⇒評価B(ほぼ達成)、達成指数80未満⇒評価C(不十分)

評価計画					自己評価					学校関係者評価		次年度への改善策		
教育目標	育てたい生徒像	育成を目指す資質・能力		目標達成のための方策の1つ	評価指標	目標値	評価値 ()内は1学期末	達成指数	評価	結果と課題	評価		委員からの意見等	
I きびしく(きびしく自らを律し)	よりよい(地域)社会の創り手として、自分自身を律し責任ある行動がとれる生徒	自分と向き合う力		当事者意識 何事にも自分ごととして取り組むことができる	生徒が主体的に学校行事に参加したと感じているアンケート評価値(生徒No2、保護者No3)	3.5	3.6	103	A	感染症対策のため、様々な制約があったが、生徒会と協議しながら企画・運営し、全校生徒が協力することで達成感が得られた。	A	・コロナ禍のもと様々な制約がある中で工夫、創造し取り組まれたと思う。 ・「学校だより」などで様々なことに積極的に取り組まれている様子がうかがえて好ましい。 ・目標を達成しており、今後も主体性を意識させながら継続して取り組んで欲しい。	生徒が主体的に校内諸活動を企画しこれに参画させる。具体的には、生徒会の各種委員会で生徒から生徒へ呼び掛ける機会を持たせる。	
				自己研鑽力 自分自身を高めるために、もっと学ぼうとする	文武両立を目指した学習指導や部活動指導が行われていると感じているアンケート評価値(生徒No8・保護者No10)	3.5	3.1	89	B	各部とも週当たり一日以上の休養日設定や試験前の活動中止など学業と両立させるための配慮をしているが、部活動の活動時間(学習時間との兼ね合い)に保護者から心配の声がある。	A	・部活動と学習時間の兼ね合いに悩みを持っている生徒が多いようですが、必要な時に集中して取り組むことで両立させてほしい。 ・文武両立はなかなか難しい面もありますが、努力していくことが必要であるし、先生方の適切な指導を続けてほしい。	次年度も今年度に引き続き以下のことを行う。 ○学校HPに各部の「年間指導計画」を掲載し、活動の見通しを生徒、保護者にもってもらう。 ○時間の変更や延長がある場合には、各部顧問から予め生徒、保護者に連絡してもらう。	
				自己調整力 自分の活動を振り返り、目標の達成に向けて行動を改善することができる	キャリアパスポートの中でルーブリックによる自己評価を行わせ目標達成に向けて行動の改善を促す。	ルーブリック評価表による生徒の自己評価値	2	2.3(2.2)	115	A	特に、3年生は進路実現に向け意識が高まった。(1学期2.47→2学期2.69)	B	・自分の活動を振り返り目標達成に向けて行動を改善するのには、時間が必要だと思います。継続的な指導を行っていく必要があると思います。 ・キャリアパスポートが浸透してきたので、早い段階での気づきや改善点を行動に移すことでレベルを上げてください。 ・目標と反省点、改善点を実践に移す工夫をお願いします。	キャリアパスポートの効果的な活用に向け、学校評議員様からの意見を参考にしていきたい。
				見通しを持つ力 目標達成までのプランを立てることができる	生徒の進路実現のため個々の課題と改善策について、検討会や模試分析によって教職員間で共有し、生徒と保護者に示す。	ルーブリック評価表による生徒の自己評価値	2	2.4(2.4)	120	A	学年進行で高まっている。(1年2.21→2年2.38→3年2.66) 今後は、改善点に気づくだけでなく行動を変えるレベルにまで引き上げたい。	B	・個々に応じたきめ細やかな進路指導を適切に行っている認識があります。ただ、保護者の評価が少し低いように感じます。少し検討が必要かもしれません。 ・生徒・保護者と面談をする際に、多くの情報を共有できるネットワークをつくり、情報提供をしてほしい。	進路講演会など生徒一人一人の進路選択のきっかけになる行事等を企画・実施することで、進路選択を主体的に進めていけるよう働きかけていく。また、進路目標について学力や適性を踏まえ、適切な指導を行う。そして、進路目標実現のために必要な学力向上策を推進する。さらに、生徒・保護者に対して分かりやすい情報を適宜提供する。
II 高く(目標と信念を高く持ち)	新たな価値の創造のために高い理想を持ち、その実現に向けて行動し学び	課題と向き合う力		学びに向かう力 さまざまな学習に対して、その意義・目的を考え、主体的に取り組む	12月の調査で3点固定ができたと答えた生徒の割合 (保護者アンケートNo13)	80%	60%	75	C	生活時間の3点固定ができたと答えた生徒の割合は、昨年度と比較すると、できている割合が増えている。ただし、学習時間は増えていない。また、保護者評価も低く、安来高校の抱える課題である。規則正しい生活と呼びかけと共に、生徒が自主的に学習するように学習の意義・目的を考えさせたい。	B	・それぞれに家庭環境が違うので難しいと思うが、努力していることは分かる。引き続き指導をお願いします。 ・方策や評価指標が立てにくい設問のため自己評価が低くなっているように思います。 ・健康第一、規則正しい生活習慣の確立が一番であるが、学習時間が増えない原因を解明し対策をとる。	安来高校が取り組まなければいけない力である。引き続き生徒への呼びかけを行う。	
				課題発見解決力 課題を発見し、自ら解決していこうとしている	課題発見・解決に関わるアンケート評価値(生徒No11)	3.5	2.7	77	C	「目の前の課題を認識し、解決策を考えたり実行することができる」と答える評価値が3年生で大きく伸びた。(1学期: 2.28→2学期: 2.46) 昨年度、本格的に始めた課題解決学習の成果と考える。次年度、一層良いものに磨き上げていきたい。	A	・生徒にも好評のように思います。今後とも充実されるよう期待します。 ・総合的な探究の時間は、大変成果があると思います。 ・総合的な探究の時間での学びが、生徒を成長させていると実感として捉えられていると思います。	生徒の主体的な学習につながるカリキュラムマネジメント会議を開催し、共通理解をもって学校全体で組織的に取り組んでいく。	
				発信力 自分の意見を適切に伝えることができる	ルーブリック評価表による生徒の自己評価値	2	2.1(1.9)	105	A	新学習指導要領を意識し、授業や学校行事など機会を捉え、自分の意見や考えを相手に伝える学習活動を行っている。	B	・自己表現できる機会が増えればと思います。 ・3年生の評価が低いのが気になります。 ・生徒の性格的な面もありますので、今後機会を増やすことが必要かもしれません。	新1年生と新2年生は一人1台のタブレットを持つことになる。したがって、これまでの発信方法だけに拘らず、この情報端末の利用を研究し効果的活用を目指したい。	
				協働する力 意見や主張の多様性を尊重しながら合意を形成し、他者と協働できる	協働性に関わるのアンケート評価値(生徒No13)	3.5	3.4	97	B	蒼輝祭、文化祭などクラスで協働しながら取り組んだ成果と考える。大切な学校行事と再確認させられた。	A	・コロナ感染拡大防止対策のためではあったが、学園祭、文化祭に参加できず残念だった。 ・社会生活で大切な事なので、継続的な指導をお願いしたい。 ・学校行事で協働することの大切さを学べていると思います。 ・生徒が楽しめるように企画してください。	新教育課程においても重要視されている力である。授業、学校行事、生徒会活動、ホームルーム活動全ての教育活動において対話的活動を意識し協働的な学びを充実させる。	
III 美しく(美しく豊かに生きる)	地域への愛着を基盤に多様な価値観を認め合う共生社会を生き抜くこと	他者と向き合う力		自己理解・肯定力 自分を意味ある存在として肯定的に捉えることができる	自己肯定感・自己有用感に関わるアンケート評価値(生徒No14)	3.5	3.3	94	B	3年生は、目前に迫った進路決定に対し、改めて真剣に自分に向き合ったことで、自己理解が深まっていったと考える。	A	・3年生の進路決定に対して、適切な指導により自己理解が深まったと思います。 ・目標が早い段階で見つかるように指導が必要だと思います。 ・自己理解を深めることで自己肯定感を高めると同時に、他者を認め他者から認められる存在になれるように生徒を導いてほしい。	低学年から、個人面談を通して、自分に向き合わせ「なりたい自分」について考えさせる。 生徒が自分の得意なことや成果をあげたことなどを振り返らせる機会を多く設けることで自己肯定感を高める。	
				他者理解・肯定力 他者の考えを理解し、自分と違ったものでも尊重したり受け入れたりすることができる	人権に関するLHRや学校行事・ホームルーム活動などを通して他者を思いやり大切にする姿勢と態度を身につけさせる。	人権に関わるアンケート評価値(生徒No15、保護者No11)	3.5	3.3	94	B	道徳教育、人権・同和教育の一体的な指導計画をもとに、日常的に指導に取り組んだ。	B	・人権教育は、とても大切だと思います。自分を認めて肯定でき、他者に対して寛容で自分とは違う価値観も肯定できる人間に育ってほしいと思います。 ・着実に身につけていると思うが、もう少し工夫が必要な気がします。 ・継続的に行っている成果が出ていると思います。続けていかれることを望みます。	自分を客観視し他者の考えや意見を聞くこととする態度を醸成するために、他者の立場を尊重する視点や行動の必要を扱うLHRを実施し、他者理解の姿勢を養う。
				協働する力 意見や主張の多様性を尊重しながら合意を形成し、他者と協働できる	協働性に関わるのアンケート評価値(生徒No13)	3.5	2.6(2.4)	130	A	特に3年生で大幅に伸びている。(1学期2.59 →2学期2.79)	A	・コロナ感染拡大防止対策のためではあったが、学園祭、文化祭に参加できず残念だった。 ・社会生活で大切な事なので、継続的な指導をお願いしたい。 ・学校行事で協働することの大切さを学べていると思います。 ・生徒が楽しめるように企画してください。	新教育課程においても重要視されている力である。授業、学校行事、生徒会活動、ホームルーム活動全ての教育活動において対話的活動を意識し協働的な学びを充実させる。	
				協働する力 意見や主張の多様性を尊重しながら合意を形成し、他者と協働できる	協働性に関わるのアンケート評価値(生徒No13)	3.5	3.4	97	B	蒼輝祭、文化祭などクラスで協働しながら取り組んだ成果と考える。大切な学校行事と再確認させられた。	A	・コロナ感染拡大防止対策のためではあったが、学園祭、文化祭に参加できず残念だった。 ・社会生活で大切な事なので、継続的な指導をお願いしたい。 ・学校行事で協働することの大切さを学べていると思います。 ・生徒が楽しめるように企画してください。	新教育課程においても重要視されている力である。授業、学校行事、生徒会活動、ホームルーム活動全ての教育活動において対話的活動を意識し協働的な学びを充実させる。	